

News Release



2015年12月18日

SOL ASIA HOLDINGS PTE.LTD.

SOL ASIA HOLDINGS、 『日カンボジア農業協力対話』 参加のお知らせ

～2015年12月8日 カンボジア プノンペンにて開催～

SOL ASIA HOLDINGS PTE, LTD.（本社：Singapore 日本支社：東京都品川区、代表取締役社長 赤尾 伸悟、以下「当社」）は、2015年12月8日にカンボジア プノンペン市内で開催されました「日カンボジア農業協力対話」に参加いたしました。

今回の日カンボジア農業協力対話は、日本、カンボジア両国がカンボジア農業の発展での協力を強化するため、「官民フォーラム」と「二国間農業協力対話（ODA事業のレビューなど）」の二部構成でアジェンダが進行されました。前半の「官民フォーラム」においては、日本、カンボジア双方の企業がカンボジアにおいて実施する、又は、関心がある農林水産・食関連事業について、先方政府関係者や業界関係者に対しプレゼンテーションを行い、それに伴うビジネスマッチングの場が提供されました。後半は、二国間農業協力対話（ODA事業など）、カンボジア農業関係調査の結果報告、過去の日本による協力のレビュー、今後のODA協力の方向性（農協育成、農業資材管理など）などのディスカッション、二カ国間の代表者より本会合のレビューが行われました。

前半の「官民フォーラム」では、当社 代表取締役社長 赤尾 伸悟より、カンボジアにおけるグローバル・フードバリューチェーンにおいてスーパーソルガムの役割、そしてスーパーソルガムの事業概略についてプレゼンテーションを行いました。その中で、「原料作物と呼ばれているスーパーソルガムは、高収量性が生み出す生産コストの低減と最適系統の選抜が生むサイレージ等製品の高品質化の生産が実現でき、海外輸入に依存しない国内生産、国内消費、或いは海外輸出のビジネス展開が可能なこと」、「当社が海外展開しているサイレージビジネスのロールモデルとサイレージ化のノウハウを提供できること」「カンボジア農業政策の中に、スーパーソルガムの導入をさせていただければ、カンボジア経済、農業の発展、農業従事者に所得向上に必ず貢献できること」をカンボジア政府関係者に対して、スーパーソルガム導入検討の提案をいたしました。その内容を受けて、カンボジア農林水産省より、「現在、カンボジアのサイレージについては100%輸入に依存している為、カンボジア国内でサイレージを生産できれば輸入に依存している現状の課題を解決できる可能性もある」との見解をいただきました。

また、ビジネスマッチングでは、カンボジアでペレット生産を展開する計画を考えている企業とのデ



イスカッションが行われ、「現在、ペレットの原料として利用されている PKS（パームカーネルシエル）よりも生産効率性及び収益性が高いこと」、「日本のバイオマス発電の原料市場規模とニーズが高いこと」の理由から、新たなバイオマス原料であるスーパーソルガムに興味があるとの打診を受け、引き続き協議を重ねていくとの合意をもってビジネスマッチングを終了いたしました。

今後も当社は引き続き、カンボジアの経済・農業の発展、地域に貢献できるように全力で事業に邁進して参ります。また、新たな発想、アプローチによる付加価値を提案し、オンリーワン企業を目指してまいります。

以 上

日カンボジア農業協力対話会場（カンボジア プノンペン市内）
プレゼンテーションの様子 | SOL ASIA HOLDINGS 代表取締役社長 赤尾 伸悟



日カンボジア農業協力対話会場（カンボジア プノンペン市内）

SOL ASIA HOLDINGS 取締役 池畑 潤（左）、カンボジア農林水産省 サン・バンティー次官（右）



日カンボジア農業協力対話会場（カンボジア プノンペン市内）



■会社概要 SOL ASIA HOLDINGS

- ・商号：SOL ASIA HOLDINGS PTE.LTD.
- ・所在地：11 COLLYER QUAY #11-05, THE ARCADE, SINGAPORE, 049317
日本支社：〒141-0001 東京都品川区北品川 5-9-15 渡辺コーポレーションビル
- ・代表者：代表取締役社長 & CEO 赤尾 伸悟
- ・株主構成：株式会社 SOL Holdings(100%)
- ・SOL ASIA HOLDINGS 公式 WEB サイト：<http://super-sorghum.jp>

【本ニュースリリースに関するお問い合わせ先】

SOL ASIA HOLDINGS PTE, LTD.

Tel : 03-3449-3700

